

記入例

(1) 令和5年1月2日から令和6年1月1日までに取得した資産及び市外の事業所から移動してきた資産又は前年申告もれ資産について記入してください。

注) そのままパンチ入力しますので、文字・数字は枠内に明確に記入してください。「/」「同上」は不可。

(2) 全資産申告する方(今年はじめて申告する方、毎年全資産申告している方等)は、江南市内に所有する全部の資産を記入してください。

(3) 非課税又は課税標準の特例の適用がある資産を取得した場合も、この用紙に記入し、「摘要」欄に適用条項を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

所有者名を記入し、ページ数を付けてください。

令和 6 年度

所有者コード ※

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者名 株式会社 江南

枚のうち 1枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (イ)			耐用年数	残存率 (ロ)	価額 (ハ)	※課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千				円	率			
01	1		構内舗装(アスファルト)	1	5	5	3	1	500	000	10	0.				1		
02	2		織機	1	5	5	4	16	000	000	7	0.				2		
03	6		エアコン	1	5	5	6	300	000		6	0.				3		
04												0.						
05												0.						
06												0.						
07												0.						
08												0.						
09												0.						
10												0.						
11												0.						
12												0.						
13												0.						
14												0.						
15												0.						
16												0.						
17												0.						
18												0.						
19												0.						
20												0.						
			小計	3				17	800	000								

【資産の種類】
数字で記入してください。
1...構築物
2...機械装置
3...船舶
4...航空機
5...車両・運搬具
6...工具・器具・備品

【年号】
数字で記入してください。
3...昭和
4...平成
5...令和

【取得価額】
資産を取得するために要した額(引取運賃、運送保険料、据付費等を含む)を記入してください。
※圧縮記帳を行っている場合は、圧縮額も取得価額に含めてください。

【耐用年数】
税務会計上、現に用いられている耐用年数を記入してください。※短縮耐用年数による場合は、その耐用年数。

【摘要】
次のような事項を記入してください。
①非課税又は課税標準の特例の適用がある資産については、その適用条項
②耐用年数の変更があった場合は、その時期及び旧耐用年数
③短縮耐用年数を適用している資産については、その旨の表示
④増加償却を行っている資産については、その旨の表示
⑤中古資産で見積耐用年数を適用している資産については、その旨の表示
⑥ナンバープレートの交付を受けている大型特殊自動車については、そのナンバープレートの地名と分類番号
⑦その他、価格の決定にあたって必要な事項

【増加事由】
該当する増加事由の番号を○で囲んでください。
1...新品取得
2...中古品取得
3...移動による受け入れ
4...その他

記入する必要はありません。

網かけ部分は記入する必要はありません。
※ただし、電算処理による資産申告をする場合は、記入してください。

【小計】
ページごとに合計を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。